

専門ゼミ A・B	教 授 谷崎 敏昭
----------	-----------

1. テーマ

情報化の進展と資本主義社会の変貌

2. ゼミのねらい・概要

大学における学問の中心はゼミナールである。そこでは教師、および学生同士が学問を通じて相互に信頼し合うことで成り立っている。ゼミは学問をするだけの場ではなく、学問を中心として、ここで培われる人間関係をエネルギーに、自分の人生の進むべき方向を見出すことに意味がある。

今年度のゼミは、卒業論文を作成しながら、資本主義の進展が格差を生み、社会が不安定なものになってきたことを取り上げ、資本主義や民主主義の有効性について考察する。同時に人工知能や IoT の急速な発展や、情報化がもたらす変革によって変わりゆく社会について討論を行う。

3. ゼミ計画

1. 自己紹介	1. 資本主義社会とは
2. 情報化の進展と現代社会の変化	2. ポスト資本主義について
3. AI と社会の進展	3. 人間労働について
4. プレゼンテーションの意義	4. プレゼンテーション (なくなる仕事)
5. プレゼンテーション (新自由主義論)	5. プレゼンテーション (仮想通貨)
6. プレゼンテーション (資本主義とは)	6. プレゼンテーション (金融業の変化)
7. プレゼンテーション (グローバル化)	7. プレゼンテーション (キャッシュレス社会)
8. プレゼンテーション (格差社会)	8. プレゼンテーション (地球温暖化)
9. プレゼンテーション (自動車産業の未来)	9. プレゼンテーション (再生可能エネルギー)
10. プレゼンテーション (医療産業)	10. プレゼンテーション (人工知能社会)
11. プレゼンテーション (少子化問題)	11. プレゼンテーション (宇宙開発)
12. プレゼンテーション (家族の在り方)	12. プレゼンテーション (日本の原子力産業)
13. プレゼンテーション (社会の行き先)	13. 働き方改革について
14. プレゼンテーション (イノベーション)	14. アベノミクス研究
15. 問題点の整理	15. 問題点の整理

4. 成績評価の方法・基準

ゼミへの貢献とプレゼンテーションの内容で評価する。

5. テキスト・参考文献

あとで指示する。

6. 受講上の留意事項

ゼミの自由な雰囲気を壊さないように努力し、最低限度の礼儀やエチケットは忘れないこと。

7. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

授業のための下調べをすることと同時に自分の問題意識を高め、何が知りたいのか、何が問題なのか、そして管理について、どうあるべきなのか考えることが重要である。

8. 到達目標

企業がめざしてきた普遍的な日本的経営について理解すると共に、日本の産業の実態を明らかにする。大学卒業後に社会で働く学生にとって、こうした知識を得ること変わりゆく日本の企業社会を理解することはたいへん重要なことである。